③ 人権課題：児童労働撤廃への取り組み

健康にアイデアを meiji

カカオ豆の主要産地では、児童労働が社会課題。

収穫の手伝いで学校に行けず、長時間労働を強いられたりすることも。
教育の機会が奪われることで、将来十分な収入を得る可能性も狭める。

児童労働監視改善システム（CLMRS*）

- 調査員が各農家や農園へ足を運び、家族構成などを確認
- 啓発活動によって児童労働の認識を高め児童労働を特定
- 改善支援およびフォローアップを実施

*CLMRSとは、カカオ生産地での児童労働・強制労働撲滅を目指すNPO「International Cocoa Initiative」が開発した児童労働監視改善システム（Child Labor Monitoring and Remediation Systems）

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

③ 人権課題：児童労働撤廃への取り組み

健康にアイデアを meiji

すべての調達先において、児童労働監視改善システム（CLMRS）
もしくは同等のシステムを導入し、**児童労働ゼロを目指します。**

目標：2026年度までにガーナ ▸ 2030年度までにその他の調達先

CLMRS導入率（導入済農家のカカオ豆の調達量から算出）

すべての調達先	36.7%
ガーナ共和国	47.6%

ガーナ共和国の CLMRS導入農家数 **5,460軒**

児童労働と特定された数	650人
そのうち是正済の数	650人

（対象期間：2022年10月～2023年9月）

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

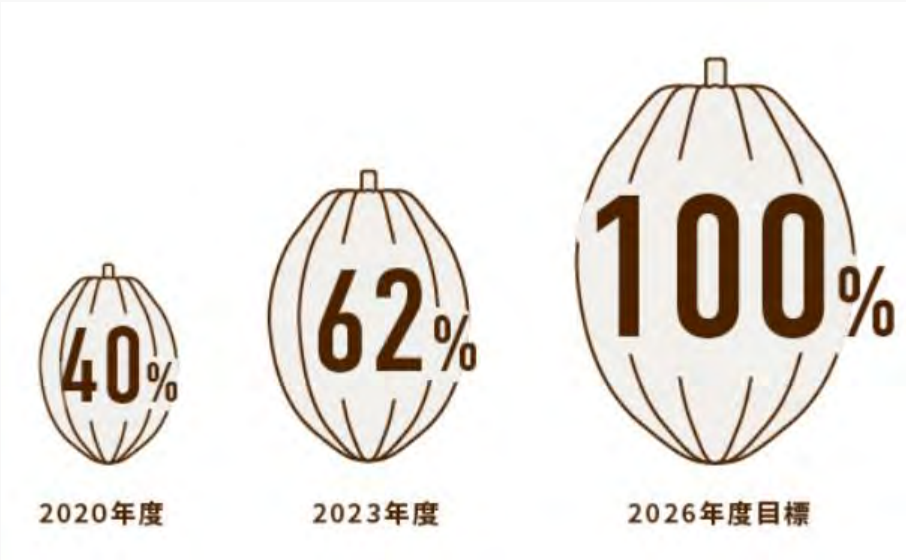
④ 持続可能なカカオ豆生産に向けて

健康にアイデアを meiji

2026年度までに明治サステナブルカカオ豆の調達比率100%

明治サステナブルカカオ豆とは…

メイジ・カカオ・サポートを通じ、農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆



前倒しで2024年度達成見込み

meiji cocoa support MCS

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

⑤メイジ・カカオ・サポート　～パートナーとの協働～

健康にアイデアを meiji

さまざまなパートナーと協働しながら、産地の課題解決に取り組み中。

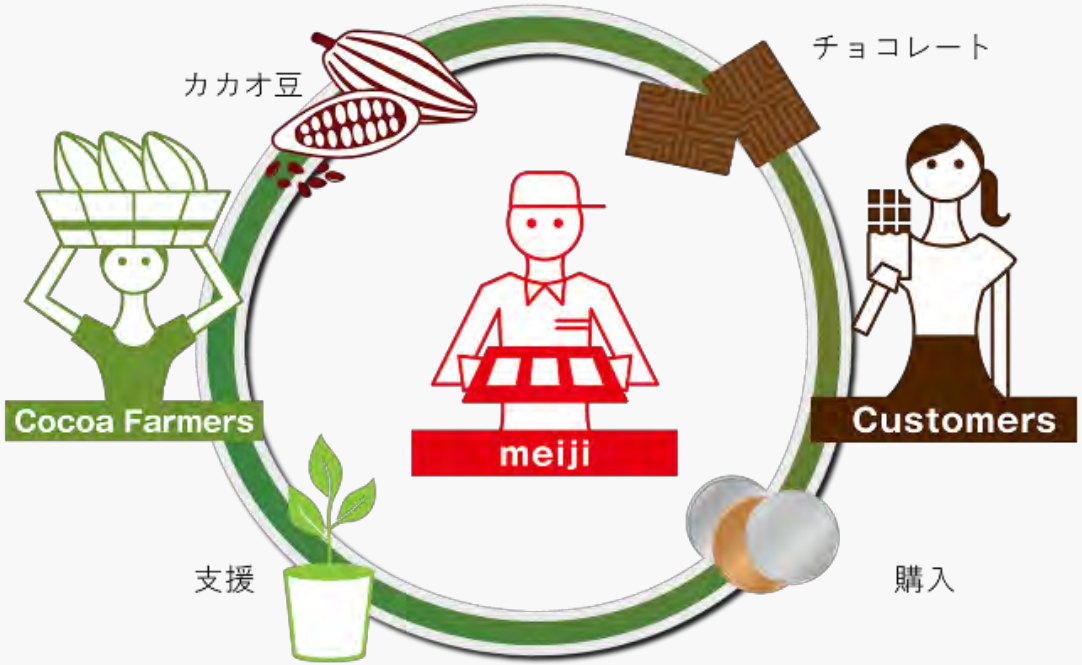
World Cocoa Foundation www.worldcocoa.org	＜**World Cocoa Foundation**＞ 2000年 カカオ・セクターのサステナビリティ確立のために、世界の主要なチョコレートメーカーやカカオ加工・流通企業などによって設立されたNPO。明治は、2006年に加盟。
International COCOA Initiative	＜**International Cocoa Initiative**＞ 2002年 西アフリカのカカオ栽培における児童労働・強制労働撲滅のために、国際的なチョコレートメーカーや多様な国際機関によって設立されたNPO。明治は、2021年に加盟（日本企業として初）。
Cocoa & Forests Initiative	＜**Cocoa & Forests Initiative**＞ 2017年 カカオ農園拡大に伴う森林破壊をなくし、森林の保護・回復を目的として設立されたパートナーシップ。明治も参画中。
開発途上国における サステイナブル・カカオ・ プラットフォーム	＜**開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム**＞ 2020年 農家の貧困や森林減少、児童労働などカカオ産業の抱える社会課題の解決に向け、JICAが設立。明治は、2022年に加盟。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

⑥ カカオに関わる全ての人の笑顔のために

健康にアイデアを meiji

つくる人、とどける人、味わう人、みんながうれしい
チョコレートを。



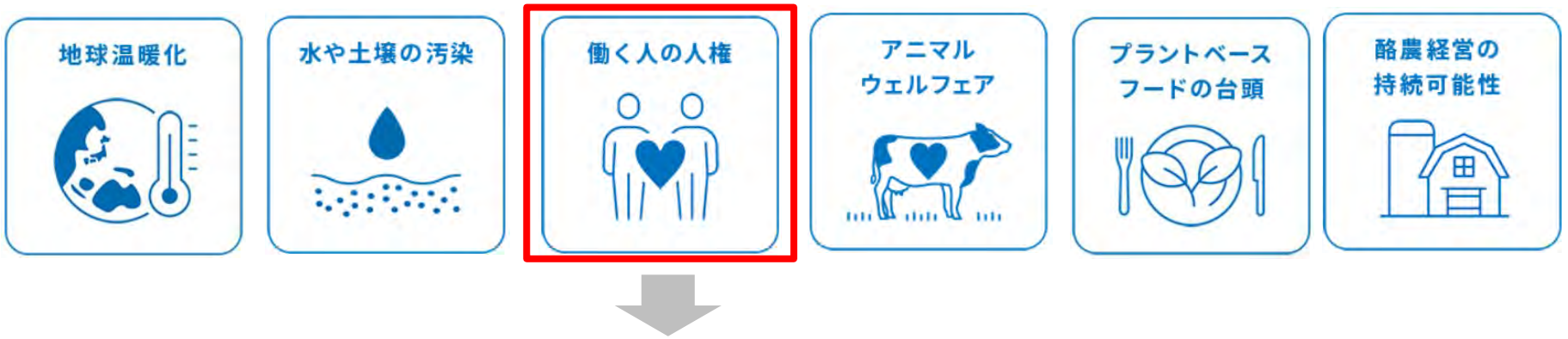
明治グループは、カカオ農家やお客様と連携し、社会課題を解決することで
持続可能なカカオサプライチェーンの構築を図ります。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

16. 事例紹介（酪農現場における人権課題への対応）

健康にアイデアを meiji

酪農における人権課題



- 早朝からの長時間労働など、過酷な労働条件による**人権問題**
- 言語や文化の壁による、**外国人労働者**の待遇への懸念
- 高齢化に伴う離農、後継者や**労働力の不足**

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

① 持続可能な酪農経営を目指して

健康にアイデアを meiji

全国の酪農家への経営支援活動
MDA（Meiji Dairy Advisory）

MDA meiji dairy advisory

「3つのカイゼン」で酪農現場の課題解決をサポート

MDAは、農場のサステナブルな酪農経営実現に向けて、
「人材マネジメント」を中心として、「アニマルウェルフェア」や
「温室効果ガス」「人権」といった社会課題の解決にも取り組んでいます。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

① 持続可能な酪農経営を目指して

健康にアイデアを meiji

＜2023年度MDA実績＞
・目標400回以上／年→**522回**
・目標2,150回以上／累計→**2,422回**

＜全国MDAミーティング開催＞
・テーマ：「アニマルウェルフェアの実現」と「人材定着」
・本社と全国（北海道、宮城、三重、大阪、香川、福岡）をオンラインで接続。
・参加人数：約170人（酪農家や農場関係者約60人を含む）

関東会場

九州会場

明治グループと酪農家を繋げる
コミュニティサイト開設（2024年9月）

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

② 酪農現場における外国人労働者の実態調査

健康にアイデアを meiji

酪農現場における外国人労働者の就労実態について、アンケートと視察・ヒアリングを実施

＜背景＞
- 農業部門における人権課題＝外国人技能実習制度の仕組みが、国際的に問題視されている事実がある。
- 酪農現場ではこれまで人権課題の視点で外国人労働者の就労実態を把握してきていない。

＜アンケートおよび現場訪問＞
- 対象：MDA実施中の農家37戸（外国人雇用は約8割）
- 設問数：7問
  - 在留資格や年齢についての確認方法
  - 労働条件についての周知方法・言語
  - 身分証明書やパスポート、在留カードの管理
  - 居住スペースについて　など
- 現場訪問：北海道2牧場、熊本2牧場

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

② 酪農現場における外国人労働者の実態調査

健康にアイデアを meiji

＜各牧場の取り組み＞

・**外国語表示**や**労働安全への配慮、生活支援**など、外国人労働者の環境整備に取り組んでいる。

・雇用主と外国人労働者の**コミュニケーションが良好**な牧場では、**労働意欲も高く**、外国人労働者が集まりやすい。

＜課題認識＞

・日本人労働者の確保が年々困難に。**外国人労働者に頼らざるを得ない**状況。

・賃金水準の高い他の産業に労働者が流れる懸念もあり、将来的にますます**労働力の確保は難しくなる**可能性がある。

フィードバック実施

- 法令違反・契約違反となる可能性のある事例
- 留意すべき事項
- 他の農場の好事例など

MDAの中で、「**人権尊重**に繋がる取り組み」
「**より良い人財を確保する**ための取り組み」として、取り組んで行く。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

＜参考＞グループ内社員向けの教育

健康にアイデアを meiji

＜2023年度実績＞
・国内グループ全社員：約13,000人（受講率93%）
・海外グループ（中国、タイ、インドネシアなど7カ国）全社員
：約1,200人（受講率：99%）

教育の中では、**明治グループ人権ポリシー**の解説を行うとともに、児童労働や外国人労働者の人権など日常業務と関連する人権課題や　「LGBTQ+と人権」について説明を行い、**社員の人権に対する意識向上とリスク低減**を図っています。

メイジセイカ・シンガポールにおける集合教育の様子

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

健康にアイデアを

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.